

Vol. 5 夏号

発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (0764) 42-1109 FAX (0764) 42-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代

モジ・ダス・クルーゼス市

姉妹都市提携15周年



モジ市街

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

モジ・ダス・クルーズ市

提携

15周年

〔ブラジル連邦共和国〕
MOGI DAS CRUZES
姉妹都市提携調印の日
1979 (昭和54) 年11月8日

善意の旅 終着！

昨年の秋、当協会からブラジルの子供達へ大きなクリスマスプレゼントを……と出発していった善意の衣類達の旅は、途中アクシデントに遭いクリスマスには間に合いませんでした。しかし、今春、ようやくその旅を終えました。

O DIARIO紙の3月24日、3月25日付で、“富山市民からの愛のプレゼント”と、大きく記事が載せられました。



モジ文協の人々
の手による
値付作業風景
(3月23日)



姉妹友好

O DIARIO - Mogi das Cruzes, Quinta-feira 24 de março de 1994 - CIDADES - 3



PRIVILEGIO - Durante o dia de ontem, apenas os associados do Bunkyo puderam fazer suas compras no bazar, que hoje será aberto ao público a partir de 8 horas

Roupas japonesas começam a ser vendidas no Bunkyo

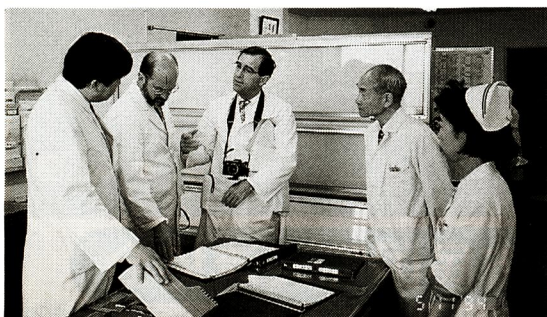
A Associação Cultural de Mogi (Bunkyo) promove hoje e amanhã, em sua sede, na Vila Industrial, um bazar beneficente com roupas enviadas pela cidade ja-

ponesa de Toyama. A maior parte das peças é usada e os preços variam de CR\$ 300,00 a CR\$ 15 mil. A renda será em favor das obras do Fundo Social. Cidades 3

朝8時からヴィウインズスリアにて慈善バザーが開かれた。(O DIARIO紙3月24日付)

ダーラム市から医師2名が来富

5月10日から1週間、エッシェルマン先生（家庭医学）とプレストン先生（整形外科）が富山市民病院を訪問。お二人は、細野、増山、沢口医師宅でホームステイをしながら、お互いに文化や医学の交流の輪を大きく広げました。



ホームステイ先のクリスティンさんの家族と八倉巻隆さん

ダーラム市

提携
5周年

〔アメリカ合衆国〕
DURHAM
姉妹都市提携調印の日
1989 (平成元) 年6月13日

高校生、ダーラムで学ぶ

次代を担う高校生が文化の違う日米両市を相互に訪問し、ホームステイしながら、友情や相手国への理解を深め、国際社会で共に生きる人材を育てることを目的に行われています。今回は第2回目の派遣が行われました。

Bunkyo vende roupas
enviadas pelo Japão

A Associação Cultural de Mogi das Cruzes (Bunkyo) promove hoje e amanhã, das 8h às 17h, um bazar beneficente na sede da entidade, na rua Campos Salles, 230. No evento, serão comercializadas roupas vindas de Toyama, no Japão, cidade-irmã de Mogi. São 12 mil peças que foram doadas pelo Fundo Social de Solidariedade, que ficará encarregado de reverter toda a renda em trabalhos junto à população carente.

Toda a organização do bazar ficou a cargo da associação, que conta com a colaboração de 180 voluntários por dia, pertencentes às duas mil famílias associadas. Para o presidente do Bunkyo, Kouhaio Asakura, as vendas poderão eliminar 80% do estoque. "Não acredito que vão acabar todas as peças em dois dias, pois a maioria dos pagantes seguiu o exemplo e pagou 80%, está aí a prova, que não é público que quer hoje e am

visível, mas esperamos o comparecimento de um grande número de pessoas, como aconteceu em outros bazares que realizamos", observou ele.

Para a presidente do departamento feminino da entidade, Junko Takebe, as roupas comercializadas são de boa qualidade e deverão agradar ao público, além de os preços estarem bem acessíveis. "A maior parte das roupas é usada, mas estão em bom estado. Os preços variam de CR\$ 15 mil a CR\$ 300 mil, dependendo da roupa", explicou Junko.

Ontem, o bazar funcionou apenas para os associados, e compareceu um grande de pessoas. Segundo Angela Harada, a única dificuldade estava em



Bazar espera comercializar, nos próximos dois dias, 80% das 12 mil peças doadas pela cidade de Toyama

12,000 pontos de roupa, 80% em 2 dias de venda. Esperamos, com o bazar, eliminar 80% do estoque. (O DIARIO 3月24日付)

今回の慈善バザーの収益や衣類は、擁護キャンペーン中に「SEMA S」(社会救済団体)を通して医薬品、ミルクに代えられ、支給されます。富山市民からの愛に感謝……。

Estoque será doado à campanha do agasalho

O Fundo Social de Solidariedade doou as roupas para a Associação Cultural de Mogi das Cruzes. Além de garantir a população roupas mais baratas, a própria entidade sai ganhando, já que vai receber toda a renda arrecadada. A presidente do Fundo, Sônia Maria Veneziani Ribeiro, preferiu não arriscar um palpite quanto ao valor que o evento vai reverter ao Fundo. Ela salienta, entretanto, que a grande maioria das peças (cerca de 60 mil) vai ser distribuída às famílias carentes durante a "Campanha do Agasalho".

As 93 mil peças recebidas de Toyama chegaram ao porto de Santos em dois navios. A carga foi custeada até o Brasil pela própria prefeitura japonesa. Já o armazenamento no porto e o transporte das peças de Suzano

Convênio com os japoneses de Toyama já dura 15 anos

O convênio que tornou irmãs as cidades de Mogi das Cruzes e Toyama completa, este ano, 15 anos. Para comemorar a data, a Associação Cultural de Mogi das Cruzes programa uma série de atividades, nos dias 1 e 2 de julho, e espera contar com a presença do prefeito de Toyama, Shioichi Masahashi. Uma pequena comissão do Bunkyo já está na cidade pessoalmente para fazer o convite para o Brasil integrando um grupo de 10 pessoas.

Para o diretor-presidente da Natchi do Brasil, Toru Takaba, é quase certo que os políticos de Toyama aceitem o convite. A resposta definitiva, entretanto, será dada no final de abril. Segundo o secretário de Relações Públicas do Bunkyo, Kunio Nakamura, estão previstas visitas oficiais à Prefeitura e a Câmara, além da inauguração do centro

富山市・モジ市姉妹都市提携15周年

両市の提携15周年を記念して6月29日から7月9日まで富山市助役を代表とする一行10名が記念式典に出席のため、モジ市を訪問します。

富山市経済人囲碁親善交流団

野村勲国際交流協会会員を団長とする一行12名は囲碁を通して友好親善を深めました。今回は、0勝2敗で富山市市長杯は秦皇島市へ痛惜の感で渡してきましたが、来年は必ず取り返そうと…。

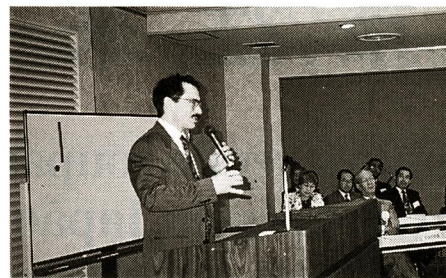


秦皇島市
[中華人民共和国]
QINHUANGDAO
友好都市締結調印の日
1981(昭和56)年5月7日

第3回“長城杯”中日老人ゲートボール大会

5月27日から10日間の日程で、吉田清治団長ら一行15名はスポーツ交流のため秦皇島市を訪問しました。開会式で双方のステックを交換し、12チームによるトーナメント戦を行いました。富山市は第3位となり、中国チームは大変強く股打ち方式で正確なプレーによる戦いが印象的で我々も一層研究しなければ…と。

平成6年度 富山市民国際交流協会総会



カール・キンランさんの記念講演



懇親会風景

平成6年度 富山市民国際交流協会総会開催 国際交流活動ネットワークの中心的機関になろう

当協会の6年度総会は5月12日、C I Cビル5階、多目的ホールで開催され会員等100余名が出席しました。正橋富山市長、五十嵐富山市議会議長の祝辞をはじめ議事進行の後、総会記念講演、アメリカ・ニューヨーク州出身のカール・キンランさんによる「日本の印象」がありました。

また、総会のあいさつで久保田会長は、とくに「会員数も450名を越えましたが当協会は、まだまだ経験も浅く活動も始まったばかりであります。しかし、協会に集まった皆様方は、どなたも国際交流活動をすすんで行おうとされる方々ばかりであり、会員皆様の創意と工夫で益々発展するものと確信しております。」と述べられました。(詳細については、総会資料をご覧ください。)

国際家族年

～家族からはじまる小さなデモクラシー～



5月27日 富山市役所市民ホール

1989年、第44回国連総会で1994年を国際家族年とする決議が採択されました。富山市では「家族を大切にします」と3世代の宣誓で記念行事を開幕。保育園児たちの鼓笛隊演奏や遊戯で祝いました。

国際フォーラム'94富山ミニ外務省

4月4日 名鉄トヤマホテル

小和田国連大使や久保田当協会会長を中心に「いま日本の外交に求められるもの、国際貢献のあり方」について、フォーラムが富山市で開催されました。



(写真 6.4.5 北日本新聞)

10月 は 国際協力月間 です

富山市民国際交流協会 委員会活動報告

第4回

ボランティア委員会

今回は、ホームステイ、ホームビジット等、直接日本の生活文化の中で心と心の交流や通訳等の活動がされているボランティア委員会をご紹介します。

ボランティア委員会委員長 小池和子

最近の国際化の流れで、富山在住の外国人は5,000人になるそうです。中国・マレーシア・ブラジルなどからの留学生・研修生。英語の教師も80人を数えるとか。県下の企業で働く中国やブラジルの人たちの数も増えていくでしょう。

私たち国際交流ボランティアは、外国の人たちと同じ地域で生活する隣人として仲良くするため、情報交換や相互理解のチャンスを持ちたいと思っています。お金で支援するやり方ではなく自発的な社会参加の一つとして活動してゆきたいものです。

昨年はアメリカ人教師のホームステイとかブラジルへ贈る衣類のバックの手伝いをし、今年の正月にはマレーシア留学生のホームステイ、ホームヴィジットなどを行い、皆さんにも喜んでいただき、私たちも新鮮な体験を致しました。これから手探りで活動してゆきたいと思いますので、行事への参加やご協力の程をお願いします。善意からの行為にも責任があること、又僅かながらお礼の気持ちも表したいと思っています。

入会やご意見（事務局入口の委員会ボックスまで）をお待ちしています。

お知らせひろば

環日本海交流フェスティバル

今、「環日本海」に新たな注目！
各国相互の国際理解と友好を…

- 日時 10月8日(土) 午後1時～7時
場所 富山県農協会館 大ホール
内容 1.環日本海フォーラム
・基調講演「未定」
・パネルディスカッション
「市民による環日本海国際交流をどう進めていくか(仮)」
コーディネーター 富山市民国際交流協会
パネラー(パネリスト) 中華人民共和国領事、大韓民国領事、ロシア共和国領事
- 2.ステージ
・各国の歌や踊り
3.ふれあいコーナー
・ギョーザ、ピロシキ、キムチ、その他
4.展示コーナー
・歴史、民族衣裳、パネル、児童画 他
5.各国の料理で交流交歓会
・参加費 3,000円程度
- 主催 環日本海交流フェスティバル実行委員会
共催 富山市日中友好協会、富山県日韓親善協会、日露協会富山支部、富山市民国際交流協会、(財)とやま国際センター

研修参加者募集

海外 ダーラム市 国内 鯖江市
10月15日(土)～10月24日(月) 11月26日(土)～11月27日(日)
※詳しいことは、折込みのチラシでご覧下さい。

多彩な行事計画を…(国際交流委員会)

- ◇日本紹介
・9月中旬頃の土曜日
・市内在住外国人と一緒に富山市内の施設などを見学し、日本を、富山を理解し交流を深める。
- ◇異文化理解講座
・時期未定 数回予定
・市内在住外国人と一緒に日本の文化を学ぶ。知る。理解する。
日本舞踊、茶道、華道、琴、大正琴、三味線、民謡、謡曲、詩吟、歴史、考古学など
- ◇'95春節交歓会
・平成7年2月(旧正月)
・中国伝統行事「春節」を通して、中国の人達をはじめ、市内在住外国人の方々と交流を深める。
- ◇中国春節剪紙(切り紙)展
・春節交歓会の頃にあわせて
・秦皇島市より寄せられた剪紙(切り紙)を展示

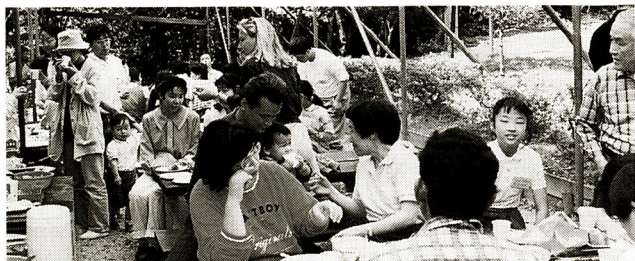
バーベキュー・パーティに参加しませんか… ダーラム市からの教師のみなさんと!!

日時 7月10日(日) 午前11時30分
場所 ファミリーパーク
会費 1,000円
申し込み 7月7日(休)まで 先着50名
富山市民国際交流センター

TEL (0764) 42-1109

第26回「ことばの日」国際交流の集い

5月22日 県二上青少年の家



5月18日の「ことばの日」に合わせて開催された。今年は、国際家族年にちなんでテーマは、家族。!

ドイツ、アメリカ、ニュージーランドなど外国人も多く参加して、各人が持ち寄った自国の料理で会食。そして、ゲームやディスカッションでことば、家族を通し国際文化を理解し、そこに友情の輪を広げました。

協会会員 江上泰弘、杉田祐子、
藤久京子参加

21世紀のための友情計画



歓迎レセプション
5月24日 高志会館

“花咲く旅路”を歌う

5月24日から6月1日の間、ジャイカが中心となってアジア、太平洋諸国の青年を日本に招いて理解を深め合い、友情を培うことによって将来の日本とそれぞれの国々のより一層の発展、平和、友情のきずなを強めて行こうと開催されました。

5月27日から3日間、マレーシアのシティさんが我家でホーム・ステイ。“花咲く旅路”が大好き!と言うシティは、私のピアノで友達の京子と歌いました。家族みんなでカラオケに行ったり、料理を作ったりしてとても楽しかったです。 テリマカシ…ありがとう

協会会員 杉田祐子

編集後記

☆ いよいよ夏休みになりますが、あなたも主役のホーム・ステイ、ホーム・ビジット等いかがですか。!

湯上がりに着るユカタの心地よさ… 団扇を手に花火をたのしむ… 蹲踞に落ちて流れる水の音……。

日本文化を紹介し、異文化を理解して心から交流してみませんか。

☆ '93夏、「TCA」号は、不安定な帆を張って出港しました。初心者ばかりが乗り合わせて不安いっぱい船出の創刊号を発刊し、途中、座礁するかと心配しながらの航海も一年になりました。みなさんのあたたかいご指導、ご協力の順風をうけながら、ただいま航行中です。

☆ これからも、魅力ある「TCA」-NEWS-をお届けできるようガンバっていきたいと思っています。紀行文や、感激感動した交流交歓の紹介、海外レポート、お知らせ、ご意見、ご感想などをお寄せください。お待ちしております。

広報委員長 岡田昌代

富山日米協会 1994年度総会

5月31日 名鉄トヤマホテル

元ジョージア州知事 ハスビー氏は基調講演で企業のリーダーシップを強調。



ホームビジット (カナダからのお客様)

大学等で英語講師をして富山在住はもう5年目というジョアンさん。(ご主人はフランス語教師)

ボランティア体験談や、仕事のことなどを話し合い、吉友嘉久子理事の心尽くしの手料理に舌つづみをうちながら、たのしい一日でした。



吉友宅にて (ボランティア委員会のみなさん)

お祝い ホームビジット

富山県費留学生として富山医薬大で学んだ、ブラジルの長谷川マリーゼ記代子さん、前田レイザ孝子さん。

3月にめでたく修了されたので、我が家でお祝いのホーム・ビジット。 お互いにお別れは寂しい。

総務企画委員会 牧野新一



左はしがマリーゼ記代子さん 右から2番目がレイザ孝子さん